

教育委員会 12月定例会会議録（要旨）

招 集 月 日	平成29年12月14日（木）	
招 集 場 所	祖東中学校2階 会議室	
出 席 委 員	教育長 深見 和博 委 員 佐野 嘉崇 委 員 加藤 高明 委 員 加藤 智子 委 員 林 みゆき 委 員 寺田 康孝 委 員 二宮 あづさ	
欠 席 委 員	なし	
議案説明のため に出席した職員	教 育 部 長 涌井 康宣 学 校 教 育 課 長 松崎 太郎 学 校 教 育 課 主 幹 早川 寿 学 校 教 育 課 主 幹 阪本 有一 図 書 館 長 中桐 淳美 交 流 学 び 課 長 田口 浩一 交 流 学 び 課 主 幹 伊藤 照彦 文 化 課 長 服部 文孝 地 域 活 動 支 援 室 長 補 佐 長谷川 武宏	
書 記	学校教育課企画係長 清水 隆之 学校教育課企画係 水野 華	
傍 聽 人 数	1名	
開 会 時 刻	午後2時00分	
閉 会 時 刻	午後3時18分	
議 題		可否
1 報 告	(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について (2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について (3) 平成29年度末、平成30年度儀式等について (4) 「まるっとせとっ子フェスタ2017」開催結果について (5) 平成29年10月情報公開請求について (6) 平成29年10月請願書について (7) 第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について (8) 「第66回瀬戸地方近郊駅伝競走大会」及び 「Green City Cup 第7回瀬戸市小学生駅伝大会」の結果について (9) 旧山繁商店文化財調査報告・意見交換会の開催について (10) 平成30年成人式について (11) 平成29年度 瀬戸市公民館大会の開催について	
2 議 案	第28号議案 学齢児童生徒の教育事務の委託について 第29号議案 平成29年10月請願について	
		可 不採択

3 その他

	<p>開会 午後 2 時 00 分</p>
深見和博教育長	<p>開会宣言</p> <p>11月教育委員会定例会及び臨時会会議録（要旨）の承認</p>
	<p>1 報 告</p> <p>(1) 催物の後援・推薦に係る審査結果報告について</p> <p>(2) 催物の後援・推薦に係る実績報告について</p> <p>学校教育課長から、審査結果報告書に基づき、「愛知県アンサンブルコンテスト東尾張地区大会（高等学校の部）」を始め3件について催物の審査結果を報告。また、実績報告書に基づき、「百田尚樹氏特別講演会」をはじめ、13件の催物の実績について報告。</p>
学校 教 育 課 長	<p>審査結果報告NO.2「特別支援教育の講演会」の周知方法について、教育委員会から各学校を通じて保護者へチラシの配布をしているが、それ以外の周知は主催者によるところであり把握していない。開催場所についても主催者によるところである。</p> <p>審査結果報告NO.3「平成29年度瀬戸市公民館作品展同時開催舞台発表会・瀬戸市公民館大会記念講演」に関連するが、平成31年4月に下品野地区ではセンターを開設予定である。それ以降、今のところセンター開設の予定はない。</p> <p>実績報告書NO.2「文化講演会」について、実績報告として「参加者は熱心に聴講し、質疑も活発に行われた」とあり、参加人数が多くはなかったものの、一定の効果があったと思われる。</p>
	<p>(3) 平成29年度末、平成30年度儀式等について</p> <p>(4) 「まるっとせとっ子フェスタ2017」開催結果について</p> <p>学校教育課長から、平成29年度末、平成30年度儀式等について報告。また「まるっとせとっ子フェスタ2017」開催結果を報告。</p>
学校 教 育 課 長	<p>(3) 平成29年度末、平成30年度儀式等に関連し、夏休みの出校日はまだ決まっていない。県から「会議・行事等を行わない期間」が通知されてから決まるものである。</p> <p>(4) 「まるっとせとっ子フェスタ2017」開催結果について、瀬戸蔵の来場者は昨年度と比べ全体で291名減っている。書写展は26人増、本のリサイクル展は43人減、図工・美術展274人減となっている。全体では平成27年度23,378人、平成28年度24,487人、平成29年度23,406人となっており、開催運営等反省を踏まえて、来年度に向けて検討中である。</p> <p>また来場者数の数値として、展示会は各フロアに臨時職員を配置し、カウンターで数えているが、それ以外は概算の数値である。</p>
	<p>(5) 平成29年10月情報公開請求について</p> <p>(6) 平成29年10月請願書について</p> <p>学校教育課長から、平成29年10月情報公開請求について報告。また平成29年10月請願書について報告。</p>
学校 教 育 課 長	<p>学校図書の廃棄ルールには、記述されている内容・資料・表記等が古くなり利用価値が失われたことや、破損が著しいこと等が廃棄対象となる。小学校では、図書</p>

	担当の教員が中心となった図書部会等で決める。中学校では、生徒中心の図書委員会で決める。
佐野嘉崇委員	廃棄図書は増えているのか。
学校教育課長	確実に把握はしていない。まだ十分使えるものは学校図書から学級文庫へ移管する場合もある。
佐野嘉崇委員	教育委員会へ廃棄の報告はあるのか。
学校教育課長	確認し、次回報告する。
交流学び課主幹	(7) 第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について (8) 「第66回瀬戸地方近郊駅伝競走大会」及び「Green City Cup 第7回瀬戸市小学生駅伝大会」の結果について 交流学び課主幹から、第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果を報告。また、「第66回瀬戸地方近郊駅伝競走大会」及び「Green City Cup 第7回瀬戸市小学生駅伝大会」の結果を報告。 委員より、「第66回瀬戸地方近郊駅伝競走大会」の参加者に対しチーム名等資料の掲示をしてはどうかという提案があった。300チーム以上の参加があるので、掲示するのは難しいが、事前に市のホームページに出走順を掲載しており、また当日は総合案内で全チーム選手名の載ったパンフレットを配布している。 また今年より「Green City Cup 第7回瀬戸市小学生駅伝大会」の開会式がなくなったが、スタートの前には準備体操とランニングを整列して行っている。参加選手の体調管理を考慮し、入場してからスタートまでのスパンを短くしようとした結果である。
佐野嘉崇委員	瀬戸市地方近郊駅伝において、特に素晴らしいタイムの選手やチームはあるか。
交流学び課長	男子1部4区で走ったウンドアップのディジョンカルクワ選手は、この数年では際立って早いタイムである。中学生男子の部1区で走った逢妻Bの松井選手もタイム的に好成績である。
加藤高明委員	いろいろな地域から近郊駅伝に出場をいただいているが、この駅伝大会は県内ではどのような位置付けなのか。
交流学び課長	公道を走る駅伝は多くなく、中学生や高校生にとってはよい経験となっているし、指導者からも喜ばれている。しかし、距離的には短いため競技としての注目度は高くない。
加藤高明委員	子供たちがこういったイベントを通じて箱根駅伝に出るような選手に育っていくといい。
佐野嘉崇委員	(9) 旧山繁商店文化財調査報告・意見交換会の開催について 文化課主幹から、旧山繁商店文化財調査報告・意見交換会の開催について報告。 現状、保存状態としてはどうなのか。

文化課 主幹	離れば傷んでいるものの大きな損傷はない。倉庫群はかなり傷みが進んでいる。保存するためにはかなりの修理が必要である。
佐野嘉崇委員	瀬戸市としては日常管理としてどのようなことをしているのか。
文化課 主幹	警備会社に委託し機械警備を行っていることと、それに付随して火災報知機の設置もしている。台風等が来た時の破損への修繕や、草刈りも行っている。
	(10) 平成30年成人式について (11) 平成29年度 瀬戸市公民館大会の開催について 地域活動支援室長補佐から、平成30年成人式について報告。また、平成29年度瀬戸市公民館大会の開催について報告。
地域活動支援室長補佐	(10) 平成30年成人式について、成人式は各公民館から新成人へ声掛けの上実行委員会を形成し、公民館が中心となって式の内容について企画運営している。そのため瀬戸市から同一のシナリオでの運営は依頼していない。 委員より、新成人が一同に会する会を行ってはどうかという提案をいただいたが、公民館関係者の声を聞くと、自分たちが小さい時からみて子たちを自分たちの手で祝いたいという意見が多いため、現状各々の公民館で行っている。少子化が進み公民館単位での運営が大変になってこれば、文化センターでの開催も考えられるが、現時点ではそういった声はない。 (11) 平成29年度 瀬戸市公民館大会の開催について、公民館大会は、長きにわたり活躍してきた方への表彰・顕彰のために開催している。あわせて知識の習得や意識の向上を目的とし、舞台展示・発表を皆さんのが活躍・発表の場としている。企画・運営は公民館協議会が行っており、今後の公民館大会をよりよいものにするため、公民館の皆様と検討していく。 表彰者の年齢について、詳細な個人情報はいたしていないため正確な年齢はわからないが、概ね60~70代の方が中心である。若手育成については課題として捉えており、夏祭りや運動会、生涯学習やサークル活動を通して、若い方との連携や興味を持っていただいて運営に携わってもらうなどしている。
寺田康孝委員	成人式に市長から祝辞は送られるのか。
地域活動支援室長補佐	全ての新成人に、市長からのメッセージを配布している。公民館によってはそれを貼り出したり、公民館の方が読み上げたりするところもある。市長が成人式に訪れて祝辞を述べることはしていない。
寺田康孝委員	東明・古瀬戸・祖母懐では少子化が進み合同で成人式を行っている。たくさんの新成人が集まることがあれば市長が出向いて言葉を述べ、成人の心に残る言葉があるかもしれない。今後運営委員会の方々とご検討いただきたい。
地域活動支援室長補佐	公民館協議会で計っていく。
佐野嘉崇委員	センター化した地区ではどのように成人式を運営するのか。
地域活動支援室長補佐	センターに委託をし、センターで企画・運営をする。

寺田 康孝 委員	公民館の運営委員の平均年齢や、人員の増減は。
地域活動支援室長補佐	平均年齢は正確にはわからないが、高齢化していることは事実である。人員の増減については、若干減っているものの概ね変わらない人数である。各公民館で運営方法は様々で、町内の代表の方がやったり、サークルの代表の方がやったりと、人数について一概には言いにくい。若手にどう活躍してもらうかは課題となっており。今後も検討していく必要がある。
寺田 康孝 委員	既に孫もない世代の方々が子供たちのために活動してくれており、次の世代に繋いでいかないと続いているのではないかと感じている。「地域とともにある学校」といっているが、公民館や自治会も子どもたちのために一生懸命活動している。今回のような大勢の人が集まる機会には、問題意識を共有できるようなきっかけとなるといいと思う。
深見和博 教育長	菱野団地の3地区が小学校区に分かれて成人式を行うことの説明をお願いしたい。
地域活動支援室長補佐	以前は菱野センタービルの中で光陵中学校区で行っていたが、ビルが利用できなくなったため各公民館単位で実施することとなった。来年以降は今年の実施状況を踏まえてまた検討する。子どもたちのことを考えると中学校区の方がよいのではという意見もあり、実行委員会でも議論している。
深見和博 教育長	新成人が恩師に成人式への参加依頼をしても、既に予定があって出れないこともあるので、校長会等を通じて参加を促してはどうか。
地域活動支援室長補佐	確かに、恩師を探すのが大変だという声を聞く。6年生の時の先生は探しやすいが、それ以前は探しにくいようだ。教育委員会を通じて声掛けをしていきたい。
学校教育課主幹	成人式をより温かみのあるものにするために、教員の参加は大事なことだと思うので校長会を通して働きかけていきたい。
深見和博 教育長	公民館大会について、智子委員より舞台発表に関連してお話をいただきたい。
加藤 智子 委員	古瀬戸公民館で運営委員を39年間やっている。各地域の公民館の方が様々な発表をしていて、いつまでたってもやりがいのある活動だと感じる。今年もまた舞台発表で健康づくりをテーマにダンスをさせていただく機会があり、やはり誰かに見てもらう機会があると、まだまだ頑張ろうと思える。表彰に関して、公民館で活躍している役員は表彰されるが、クラブ員の中には自分よりもっと長く活動を続けていらっしゃる方がたくさんいる。クラブで長年頑張っている方々に対して、何か表彰状のようなものがあればいいと思う。
林みゆき 委員	公民館の役員を5-6年やっているが、自分が担い手の一員であると再認識した。若手が必要だというのは間近で感じているが、長年やっている方の熱意に負けてしまうこともあった。これからは身近な友人たちにも働きかけをして、気を引き締め頑張っていきたい。成人式の運営にも携わっており、毎年恩師が卒業アルバムを持ってきて写真と本人を確認しながらほのぼのと話している姿を見かける。教員の方々からは、新成人の姿や、触れ合いは明日への活力となるという声も聞く。地域の子供の育ちの様子を身近に感じることができ、公民館の活動は大きな成果を上げ

	<p>ていると感じる。</p>
	<h2>2 議 案</h2> <p>「第 28 号議案 学齢児童生徒の教育事務の委託について」 学校教育課長から、資料に基づき説明。</p> <p>子ども達の通学方法について、多治見市立南ヶ丘中学校に通う生徒の通学方法は保護者の送迎の場合と徒歩の場合がある。徒歩の場合は、国道 248 号線（歩道整備済み）を通り、片道 3.5 キロである。春日井市立高蔵寺中学校へ通う生徒は、定光寺駅～高蔵寺駅まで JR 中央線を利用する。自宅から定光寺駅までは、徒歩もしくは保護者の送迎である。春日井市立高座小学校に通う児童は、瀬戸市に一番近い通学団に合流し通学団の一員として登校しており、通学団の集合場所までは保護者が送迎している。</p> <p>今年度、委託している中学生は多治見市 1 名、春日井市 13 名で、多治見市に通っている生徒 1 名はもともと掛川小に通っていて、春日井市に通っている生徒 13 名はもともと掛川小に通っていた生徒 10 名と、春日井市立小学校に通っていた生徒 3 名である。教育方針は、委託先に従う。</p> <p>原案どおり可決することに賛成の方は挙手をお願いします。</p> <p>異議なし。（全員挙手）</p> <p><審議の結果、原案どおり承認></p> <p>深見和博教育長 ここで、先ほど報告事項にありました「平成 29 年 10 月請願書について」を、第 29 号議案として追加上程します。</p> <p>「第 29 号議案 平成 29 年 10 月請願について」 学校教育課長から、資料に基づき説明。</p> <p>佐野嘉崇委員 図書標準というのはどのようなものか。</p> <p>学校教育課主幹 「学校図書館図書標準」とは、公立の義務教育諸学校において、学校の学級数別に蔵書冊数をきめている。学校図書館法 7 条が「学校の設置者は、この法律の目的が十分に達成されるようその設置する学校の学校図書館を整備し、及び充実を図ることに努めなければならない。」と定めており、この「努力義務」から発生したもので、学校図書館の図書の整備をはかる際の「目標」とされている。</p> <p>この計算式にあてはめますと、学級が 1 増となると、小学校の中規模校では約 400 冊増、大規模校では 200 冊増となる。中学校について言いますと、中規模校で約 500 冊増、大規模校で約 300 冊増となる。</p> <p>佐野嘉崇委員 瀬戸市小中学校の具体的な「図書標準の達成状況」はどうになっているか。</p> <p>学校教育課主幹 請願者が提示している平成 27 年の調査では小学校は 100% 超が 7 校、75～100% が 7 校、50～75% が 6 校。中学校は 100% 超が 4 校、75～100% が 4 校で、100% 達成率は小学校で 35%、中学校で 50% でした。平成 29 年度では 100% 達成率は小学校で</p>

	40%、中学校で 37.5%で小学校では増加、中学校では減少という状況である。しかし、100%以下の学校で 27 年度に比べ達成率が向上した学校は小学校で 13 校中 10 校、中学校で 4 校中 3 校であり、先ほども述べたように、図書標準は学級数に連動しているため、学級数が増えた学校ですぐに達成率を上げることは難しいという事実もある。
佐野嘉崇委員	蔵書数についての状況はどのようになっているか。
学校教育課主幹	達成率はこのようですが、蔵書数はほぼすべての学校で着実に増加している。具体的には小中学校合わせて 12,000 冊増えているが、先ほど述べたように図書標準数は学級数に連動しており、ここ数年学級増になっている学校が多いため蔵書数は増えているにもかかわらず、達成率が 100%の学校はあまり増えていないという状況がある。この学級数には特別支援学級の一人設置も含まれており、特別支援学級が多くの学校で増加したことその要因となっている。
佐野嘉崇委員	27 年度に比べどのくらいの学校が学級増になったのか。
学校教育課主幹	小学校は 11 校、中学校では 4 校というように半数以上が増加している。
佐野嘉崇委員	各校とも蔵書数は着実に増やしているのですが、図書標準に合わせた蔵書冊数も増加しているので 100 パーセント達成とはなっていないということですね。図書を購入するのは市の予算だと思うのですがその予算はどれくらいなのか。
学校教育課主幹	29 年度の予算で言うと小学校には約 930 万円、中学校には約 530 万円が予算総額です。
佐野嘉崇委員	それらの予算を児童生徒数に応じて各学校に配分しているということか。
学校教育課主幹	はい、基本児童生徒数に対応しています。
加藤高明委員	達成状況 100%超の学校の予算を削り、それを達成状況の低い学校に配分するという考えはないか。
学校教育課主幹	図書は冊数だけでなく、その内容も非常に大切である。100%超の学校は学級数が少ない学校も少なくなく、配分予算も多くなく、その中でこのような学校も、学校図書館図書整備等 5 年計画にもありますように、児童生徒が正しい情報に触れる環境の整備の観点から、古くなった本を新しく買い替えることも必要である。したがって 100%超の学校の予算を他校に配分することは容易でないと考えている。
加藤高明委員	確かに、単純に冊数だけでなく、その内容も大切である。教育委員会は学校図書館の現状や課題をしっかりと認識し、「学校図書館図書整備等 5 年計画」に示されている内容については、すでに把握しその実現に向けて取り組んでいるということがよくわかりました。
深見和博教育長	本請願について、採択することに賛成の方は挙手をお願いします。 (全員挙手せず)

全員、反対と認めます。よって、本請願は不採択とすることに決定いたしました。

<審議の結果、不採択>

3 その他

学校教育課長から、平成30年1月定例教育委員会日程表について説明。

閉会宣言

閉会 午後3時18分

教育長

深見和博

教育長職務代理者

佐野嘉彦